# 評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-建築(新築)2016年版　|使用評価ソフト：CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

## 1-1 建物概要

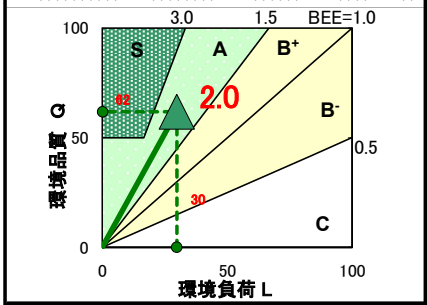
| | | | |
|---|---|---|---|
| 建物名称 | (仮称)柏の葉キャンパス136街区新築計画 | 階数 | 地上3階 |
| 建設地 | 千葉県柏市柏都市計画事業柏北部中央地区一体型特定土地区画整理事業136街区1,2,8,9,10,21,22,23,24画地 | 構造 | S造 |
| 用途地域 | 第二種住居地域、第二種高度地区 | 平均居住人員 | 30 人 |
| 地域区分 | 6地域 | 年間使用時間 | 1,904 時間/年(想定値) |
| 建物用途 | 事務所, | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2027年12月　予定 | 評価の実施日 | 2026年5月29日 |
| 敷地面積 | 11,265 ㎡ | 作成者 | 三井住友建設株式会社 |
| 建築面積 | 1,139 ㎡ | 確認日 | 2026年5月29日 |
| 延床面積 | 2,996 ㎡ | 確認者 | 三井住友建設株式会社 |

## 1-2 外観

## 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

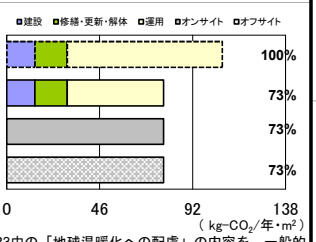
BEE =2.0

S: ★★★★★　A: ★★★★　B+: ★★★　B-: ★★　C: ★



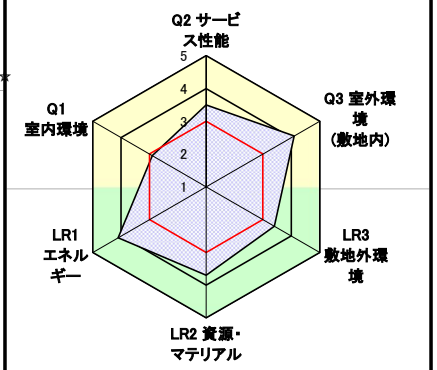

## 2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

30%: ☆☆☆☆☆　60%: ☆☆☆☆　80%: ☆☆☆　100%: ☆☆　100%超: ☆




このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

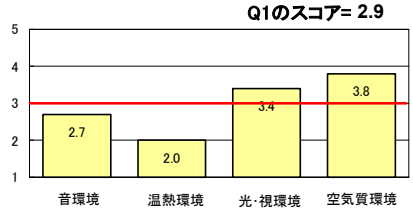
## 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



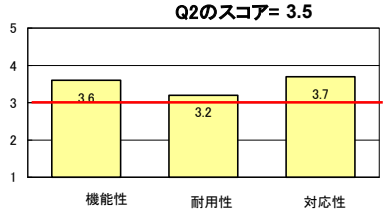

## 2-4 中項目の評価(バーチャート)

### Q 環境品質　　Q のスコア= 3.4

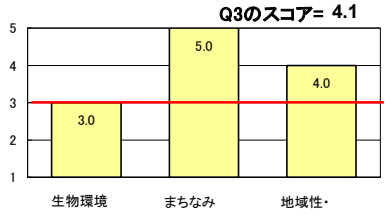
**Q1 室内環境**　Q1のスコア= 2.9




**Q2 サービス性能**　Q2のスコア= 3.5

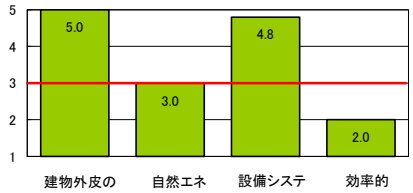



**Q3 室外環境（敷地内）**　Q3のスコア= 4.1

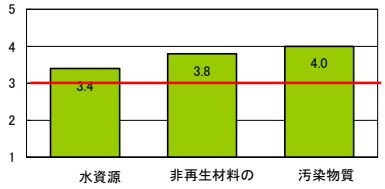



### LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 3.8

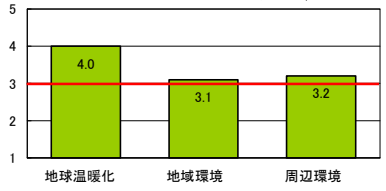
**LR1 エネルギー**　LR1のスコア= 4.1




**LR2 資源・マテリアル**　LR2のスコア= 3.7




**LR3 敷地外環境**　LR3のスコア=3.4




## 3 設計上の配慮事項

| 総合 | | その他 |
|---|---|---|
| 株式会社日本製鋼所の従業員が快適に業務を行うことを目的とする施設である。柏市地区計画等の条例に定められた内容に即して計画を行い、街並みに合わせたマテリアルを使用することで敷地外環境との調和を図る計画を目標としている。 | | - |
| **Q1 室内環境** | **Q2 サービス性能** | **Q3 室外環境（敷地内）** |
| F☆☆☆☆建材を全面的に採用し空気質環境にも十分配慮している。 | 補修必要間隔の長い内装材、配管材を採用するなど建物の耐用性・信頼性に配慮している。 | 3m～10m程度のセットバックを行い、各所にオープンスペースと植栽帯を<br>設けることで良好な景観の形成を行っている。 |
| **LR1 エネルギー** | **LR2 資源・マテリアル** | **LR3 敷地外環境** |
| 太陽光発電システムを採用し、自然エネルギーの有効活用に配慮している。高効率なLED照明器具等を採用し、設備システムの高効率化にも配慮している。 | リサイクル材を使用し、資源の再利用に配慮している | 交差点を避けた位置、敷地境界線からセットバックした位置に出入口を設置することで敷地外への交通負荷抑制に配慮している。 |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency（建築環境総合性能評価システム）
■Q: Quality（建築物の環境品質）、L: Load（建築物の環境負荷）、LR: Load Reduction（建築物の環境負荷低減性）、BEE: Built Environment Efficiency（建築物の環境効率）
■「ライフサイクル$CO_2$」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクル$CO_2$排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# CASBEE柏 評価結果

■使用評価マニュアル:ASBEE-建築(新築)2016年版　■使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

## 1 建物概要

| 建物名称 | (仮称)柏の葉キャンパス136街区新築計画 | 建築物の環境効率(BEEランク) | A | ★★★★☆ |
|---|---|---|---|---|

## 2 重点項目への取組み度

| 重点項目 | 取組み度 ※ (得点/満点) | 評価結果 |
|---|---|---|
| K1 地球環境にやさしい社会をつくる | 3.5 / 5.0 | ふつう |
| K2 うるおいのある景観をつくる | 4.0 / 5.0 | すばらしい |
| K3 安全で健康な生活環境をつくる | 3.2 / 5.0 | ふつう |

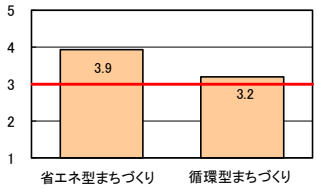
※ 対応するCASBEEのスコアと主な指標を元に、独自に設定された条件で評価をします。(左記は評価結果の凡例)

| すばらしい 4点以上 | ふつう 3点以上 | がんばろう 3点未満 |
|---|---|---|

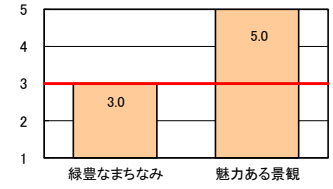
## 3. 中項目の評価(バーチャート)

### K: 柏市の重点項目

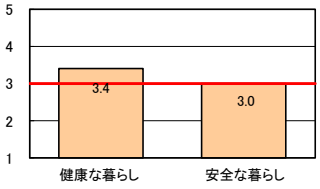
K1 地球環境にやさしい社会をつくる




K2 うるおいのある景観をつくる




K3 安全で健康な生活環境をつくる




## 4. 設計上の配慮事項

### K1 地球環境にやさしい社会をつくる

外皮に極力ECPパネルを用いることで建物内の省エネ化に努める。

節水型の衛生器具を採用することによる、資源の有効利用に努める。

**スコアシート**

| | | |
|---|---|---|
| 1. 省エネ型まちづくり | | |
| 1.1 建物の熱負荷抑制(LR1-1) | スコア | 5.0 |
| 1.2 自然エネルギーの利用(LR1-2) | スコア | 3.0 |
| 1.3 設備システムの高効率化(LR1-3) | スコア | 4.8 |
| 1.4 効率的な運用(LR1-4) | スコア | 2.0 |
| 2. 循環型まちづくり | | |
| 2.1 雨水利用・雑排水再利用(LR2-1.1) | スコア | 3.0 |
| 2.2 雨水排水負荷抑制(LR3-2.3.1) | スコア | 3.0 |
| 2.3 非再生性資源の使用量削減(LR2-2) | スコア | 3.8 |
| 2.4 廃棄物処理負荷抑制(LR3-2.3.4) | スコア | 3.0 |

### K2 うるおいのある景観をつくる

道路境界側に街路樹型植栽を配置し、歩きやすい空間を形成し周辺環境への配慮に努める。

アクアテラスを視認できる滞留空間を設け、周辺とのつながりを意識した外構計画とし、植栽を設けることで周辺への圧迫感を与えない計画とした。

**スコアシート**

| | | |
|---|---|---|
| 1. 緑豊なまちなみ | | |
| 1.1 生物資源の保全と創出(Q3-1) | スコア | 3.0 |
| 2. 魅力ある景観 | | |
| 2.1 まちなみ・景観への配慮(Q3-2) | スコア | 5.0 |
| 2.2 水空間の創出 | 設置の有無 | – |
| 2.3 道路沿いの緑化 | 緑視率の確保 | – |

### K3 安全で健康な生活環境をつくる

物理的な障壁を整備するのではなく、建物の外壁や植栽等のランドスケープで景観に十分な配慮をしながら、セキュリティラインを確保する

関係車両は敷地の西側出入口より入出庫を行う。アクアテラス側やガーデンストリート沿いに車両出入口を作らない、歩車分離を意識した安全な計画とする

**スコアシート**

| | | |
|---|---|---|
| 1. 健康な暮らし | | |
| 1.1 空気質環境(Q1-4) | スコア | 3.8 |
| 1.2 バリアフリー計画(Q2-1.1.3) | スコア | 3.0 |
| 2. 安全な暮らし | | |
| 2.1 耐震・免震(Q2-2.1) | スコア | 3.0 |
| 2.2 防犯対策 | 防犯性の配慮 | – |